

ぎふグローバル ニュース「Co-Work」23 号 H27/3/27

「ぎふグローバル人材育成推進モデル事業」フォーラム開催しました！

1 年に渡り取り組んできた事業のまとめとして、フォーラムを行いました。

1. 日 時 平成 27 年 3 月 21 日（土） 開始 午後 1 時 ～ 午後 4 時 00 分
2. 場 所 岐阜聖徳学園高校 多目的会館
3. 内 容
 - ①開会 (挨拶、1 年間の実施内容の報告)
 - ②ポスターセッション (当該クラス[1 年普通科 1 組 2 組]による個人研究報告)
 - ③フィリピン視察の報告 (代表生徒による報告)
 - ④テレビ会議システムによる交信授業
(フィリピン国立レイテ・ナショナル高校の生徒とのディスカッション)
 - ⑤パネルディスカッション (テーマ「高校時代に身に付けるグローバル視点とは何か」)
 - ⑥閉会 (挨拶、今後の指針の報告)

来賓の方々、生徒の保護者、本校生徒、卒業生など、約 100 人が集い半日、1 年普通科 1 組 2 組の取り組みを見ていただき、グローバルな視点を持つことについて考えていただけたと思います。生徒たちは、緊張しながらも、極力英語を使い、プレゼンテーションに少しでも慣れていくよう頑張りました。パネルディスカッションでは、素晴らしいご意見をたくさん頂き、勉強になりました。

フォーラムの様様

開会のあいさつ

生徒が英語で司会に挑戦。1 年間の実施内容について報告させていただきました。また、生徒代表も英語でこの 1 年間の成長や意識の変化を英語でスピーチしました。



ポスターセッション

1組2組の生徒全員が各個人テーマを決め、調査した内容を研究報告のポスターの形にまとめました。フォーラム当日に掲示し、各生徒がその前で自分の研究について参加者にプレゼン。皆さん、とても興味深く聞いて下さいました。質問もたくさん頂き、しっかり答えられたと評価も頂きました。



ポスターセッション 教室配置図と発表テーマ

■1組

- 1-2 伊藤静流 ごみの行方について
- 1-3 伊藤優喜子 どうして上流はきれいなのか？
- 1-4 奥村紗幸 排水がきれいになるまで
- 1-5 木村桃佳 長良川をきれいにする
- 1-6 柴田梨香子 水のおいしさ ～おいしくするための要素～
- 1-7 原 衣澄 長良川に生息する魚たち～どのような魚がいるのか～
- 1-8 平田 知子 長良川に浮く油と微生物
なぜ長良川に油が浮くのか？そして犠牲者は微生物なのか？
- 1-9 不破 悠乃 いきている長良川
- 1-10 宮川 沙里 PLAY AT A RIVER ～長良川での川遊び～
- 1-11 森 有莉沙 鮎が生物濃縮したら人々はどうなるのか...？
- 1-15 水野智文 木曽三川の歴史

■2組

- 2-2 大野恵利 日本三大清流～日本三大清流からみる長良川～
- 2-3 大橋沙耶 宝暦治水工事について～工事前と工事後の地形の変化
- 2-4 加藤晴美 輪中
- 2-5 楠紗也加 長良川は何故きれいなのか
- 2-6 栗山七緒 人間の健康と川
- 2-8 箕浦 凜 木曽川(長良川・木曽川・揖斐川)の水質の比較
- 2-10 山口明里 岐阜の地下水
- 2-11 梅田直暉 日本三大清流の比較～清流って何？～
- 2-12 坪井拓海 後に決定して変更します
- 2-14 森 裕哉 長良川 アユの遡上数
- 2-15 渡辺啓介～アユの生態～ ～アユの生活V特徴～



フィリピン視察の報告

フィリピン視察時の動画を流しながら代表生徒による現地の様子を報告。交流の実体が生々しく伝わったと思います。



テレビ会議システムによる交信授業

テレビ会議システムを使用して、フィリピンのレイテ高校との公開交信授業。レイテ高校への事前訪問に現地でレイテ高校の生徒とディスカッションしたお互いの国や地域の災害による被害状況や災害対策についてについて、さらに意見交換をしました。



パネルディスカッション；論題「高校時代に身に付けるグローバル視点とは何か」



今回のフォーラムに参加頂いた以下の先生方によるパネルディスカッション。廣田則夫教授（岐阜大学教育学部）、森 哲也先生（（株）テムスト）、阿倍健一教授（総合地球環境学研究所）、宗宮喜代子学部長（岐阜聖徳学園大学外国語学部）、加納幹雄教授（岐阜聖徳学園大学教育学部）、鈴木晃一（岐阜聖徳学園高校）、堀 秀光（岐阜聖徳学園高校）、司会：迫間隆志（岐阜聖徳学園高校）。

「グローバルであると同時に、ローカルを知る。その背景がグローバル視点を支える。（廣田教授）」
「グローバル人材としての基礎力は備わってきている。自信を持って次の段階に進んで欲しい。（加納教授）」
「グローバルの活動を通じて、自分は何者なのかの問いを深めて欲しい。（阿部教授）」
「語るものがあること。グローバルを流行りで捉えないこと。十分勉強をしてほしい。（宗宮教授）」などの、貴重なご意見をたくさん頂き、非常に充実したパネルディスカッションになりました。

閉会のあいさつ

最後も生徒が英語にて司会進行させていただき、ご講評を阿部教授から頂きました。

最後にお越しいただいた方にアンケート記入をして頂いてフォーラム終了となりました。

お疲れ様でした。

